

2020年度調査 長野の子ども白書・報告書〈小中学生〉

監修：北海道大学教育学部・発達心理学教室 加藤弘通（准教授）

調査・分析作業：長野の子ども白書編集委員会アンケートチーム

I. 調査概要

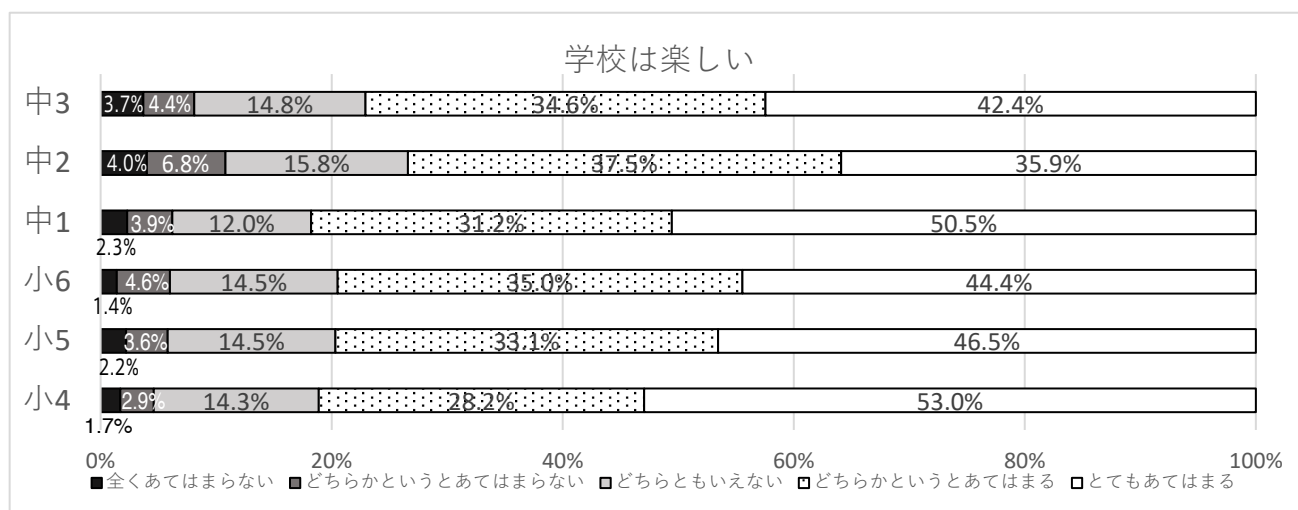
本調査は昨年に引き続き、長野の子ども白書編集委員会内アンケートチームが調査・分析作業を行い、アンケート用紙作成者である北海道大学・加藤弘通准教授に監修をお願い致しました。

今回の調査には小学校 6 校（4～6 年生）、中学校 5 校、義務教育学校（4～9 年生）1 校、計 12 校の児童生徒 3133 名に協力していただきました。調査協力者の内訳は以下のとおりです。

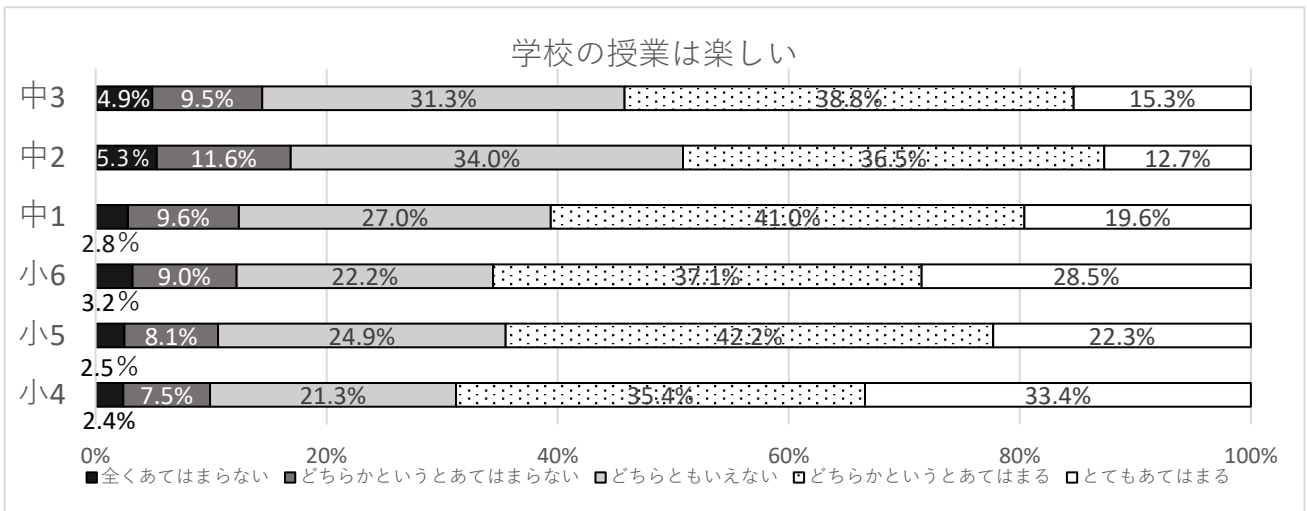
調査協力者の内訳		男子	女子	性別不明	計
小学校	4 年生	219	202	0	421
	5 年生	190	169	0	359
	6 年生	203	211	0	414
中学校	1 年生	356	333	2	691
	2 年生	347	305	0	652
	3 年生	290	301	4	595
	学年不明	0	1	0	1
	計	1605	1522	6	3133

II. 資料編

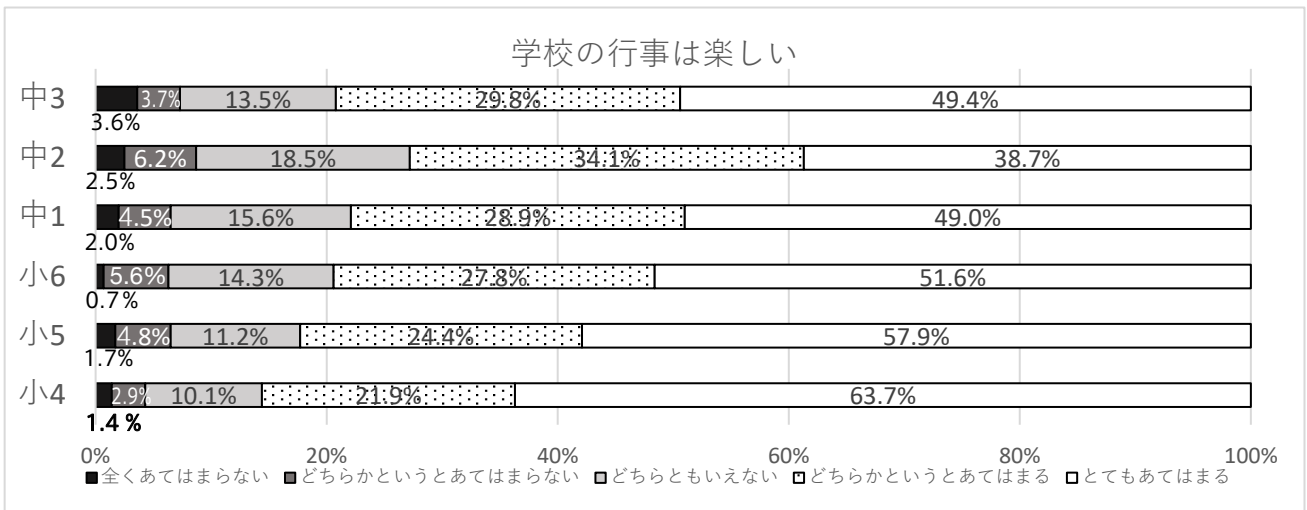
1. 学校生活



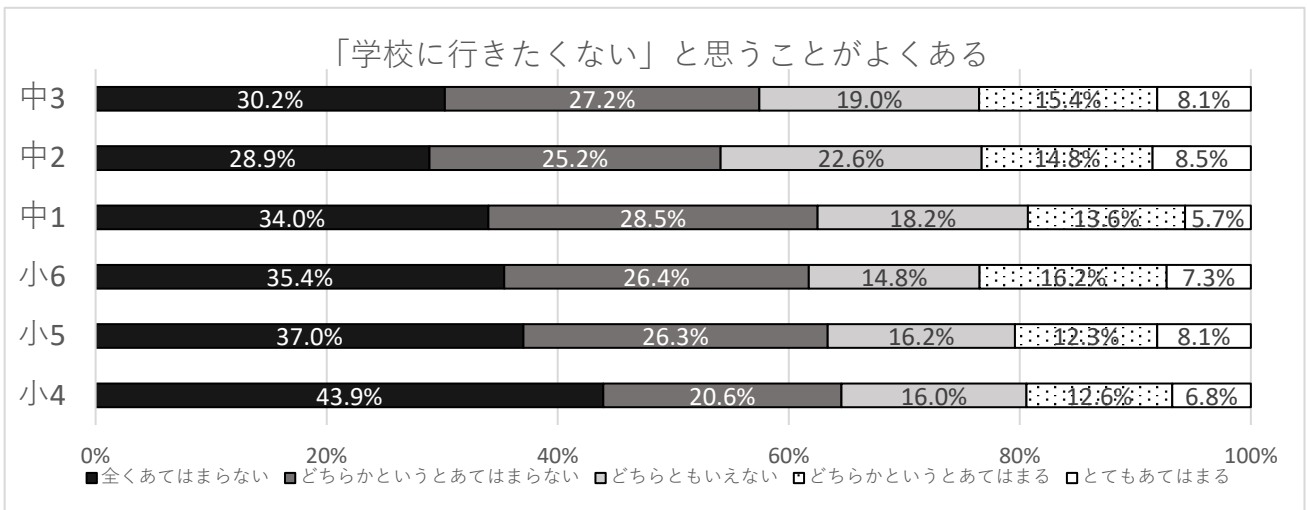
いずれの学年も7割を超える者が学校は楽しいと回答をしています。学年別に大きな違いは見られません。ただ、昨年と比較すると、「どちらともいえない」が減りました。



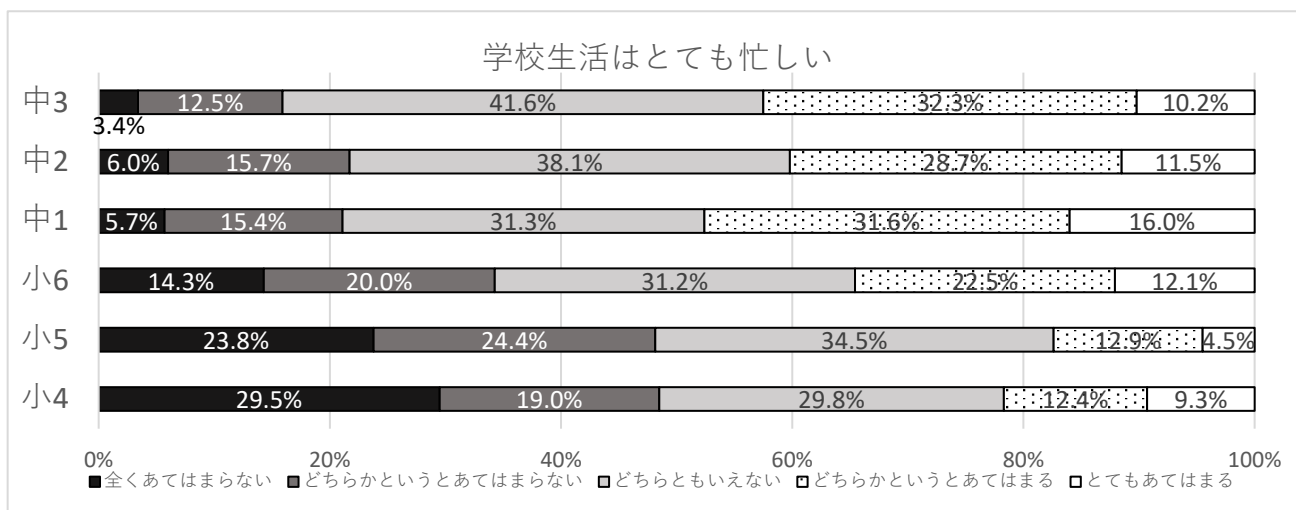
小学4年から中学1年までの6割前後が学校の授業は楽しいと回答していますが中学2年、3年生は6割を割っています。



すべての学年において7割以上が学校の行事は楽しいと回答をしています。中2ではその割合が減りますが、中3については8割近くが学校の行事は楽しいと回答しています。



学校に行きたくないと思うことがよくあると回答したのは約2割で、学年による大きな差も見られません。



学校生活がとても忙しいという回答については、学年によって大きな差がみられます。最も多いのは中学1年で最も少ないのは小学5年です。

2. 教科の好み(各教科が好きですか)

7～8割が好きだと回答している教科を学年別に見ると、小4では図工、体育、総合、理科、音楽、家庭科。小5では、家庭科、図工、総合、体育。小6では図工、家庭科、体育、総合。表現活動や実技を伴う教科を多くの子どもが「好き」と答えています。中1では、体育、美術。中2では7割以上の教科はありません。中3では体育でした。

教科別に見ていくと、5割以上が好きだと回答をしているのは、国語では小4、小6。社会では小4から中3まですべての学年で。算数数学では、小4、小5、小6、中1。理科では小4、小5、小6、中1、中2、音楽は小4、小5、小6、中1、中3、図工・家庭科、体育はすべての学年で6割を超えています。

外国語(英語)は、中3以外のすべての学年で6割を超えています。総合的な学習は小4、小5、小6、中1で、道徳は小4、小5、小6で5割を超えています。

好きという回答が3割以下だったのは、中2、中3の道徳でした。

中3の数学と中2の音楽は3割前後が好きではない、どちらかという好きではないと回答しています。

教科の好み		全くあては	どちらかと	どちらとも	どちらかと	とてもあて
国語	小4	7.4%	13.1%	26.7%	30.2%	22.6%
	小5	5.6%	19.5%	30.1%	25.1%	19.8%
	小6	4.6%	19.7%	26.5%	32.0%	17.2%
	中1	5.7%	16.7%	31.2%	33.7%	12.8%
	中2	8.3%	17.8%	36.3%	30.4%	7.2%
	中3	6.7%	14.3%	35.0%	30.5%	13.5%
社会	小4	6.1%	12.4%	21.4%	28.7%	31.4%
	小5	6.2%	17.4%	23.0%	28.6%	24.9%
	小6	3.9%	12.9%	21.0%	28.8%	33.4%
	中1	7.6%	16.0%	27.4%	30.0%	19.0%
	中2	6.8%	16.5%	26.7%	32.5%	17.6%
	中3	3.2%	14.2%	23.6%	38.3%	20.7%
算数・数学	小4	9.1%	10.8%	21.8%	24.6%	33.7%
	小5	7.6%	15.5%	21.4%	24.8%	30.7%
	小6	8.8%	17.4%	17.6%	28.4%	27.9%
	中1	6.8%	16.0%	27.8%	27.8%	21.5%
	中2	8.9%	18.0%	25.5%	29.0%	18.6%
	中3	10.8%	20.0%	26.6%	26.9%	15.7%
理科	小4	3.6%	6.0%	16.6%	26.0%	47.8%
	小5	5.0%	12.0%	21.0%	29.4%	32.5%
	小6	3.9%	15.7%	23.7%	28.8%	27.8%
	中1	3.9%	8.7%	24.1%	38.6%	24.6%
	中2	6.3%	15.2%	28.2%	32.6%	17.7%
	中3	6.3%	19.8%	31.1%	27.6%	15.2%
音楽	小4	4.1%	5.0%	17.3%	28.1%	45.3%
	小5	6.5%	7.1%	17.5%	27.4%	41.5%
	小6	6.5%	10.2%	21.3%	30.5%	31.5%
	中1	6.0%	13.4%	28.2%	26.7%	25.7%
	中2	11.2%	15.2%	31.1%	25.7%	16.8%
	中3	5.6%	13.0%	30.3%	28.1%	23.1%
図工・美術	小4	1.9%	4.8%	11.5%	20.4%	61.3%
	小5	2.0%	7.6%	12.0%	21.8%	56.6%
	小6	4.1%	7.3%	15.1%	26.5%	47.0%
	中1	2.8%	9.2%	19.0%	32.0%	37.1%
	中2	5.8%	12.0%	22.0%	33.0%	27.2%
	中3	3.0%	8.8%	26.3%	31.0%	31.0%
家庭科、	小4	5.1%	2.6%	23.1%	15.4%	53.8%
技術・家庭科	小5	3.4%	3.9%	14.0%	25.5%	53.2%
	小6	2.2%	6.6%	17.7%	27.2%	46.4%
	中1	2.3%	7.6%	22.7%	36.7%	30.7%
	中2	4.2%	7.4%	25.9%	34.7%	27.9%
	中3	2.5%	9.0%	26.1%	36.4%	26.1%
	体育、	小4	4.1%	5.3%	9.2%	20.6%
保健・体育	小5	2.5%	6.4%	14.0%	20.7%	56.3%
	小6	3.9%	6.8%	13.6%	22.1%	53.6%
	中1	2.8%	8.6%	13.2%	27.1%	48.3%
	中2	5.7%	9.2%	19.1%	27.2%	38.8%
	中3	4.7%	6.9%	16.1%	28.6%	43.6%
	外国語、英語	小4	9.3%	9.6%	19.6%	28.5%
	小5	3.9%	11.7%	20.4%	29.6%	34.1%
	小6	6.1%	15.3%	22.8%	27.7%	28.2%
	中1	5.8%	11.9%	26.1%	28.8%	27.4%
	中2	8.1%	14.4%	28.2%	28.7%	20.6%
	中3	9.9%	15.0%	30.5%	26.0%	18.5%
	総合学習	小4	1.9%	3.6%	16.5%	22.3%
小5		2.0%	5.3%	17.4%	26.6%	48.7%
小6		2.2%	4.9%	23.1%	28.4%	41.5%
中1		2.8%	7.9%	33.5%	30.3%	25.5%
中2		4.2%	10.0%	45.4%	26.1%	14.2%
中3		2.9%	11.3%	40.6%	27.7%	17.5%
道徳	小4	6.2%	9.3%	26.3%	29.1%	29.1%
	小5	4.2%	12.8%	26.7%	29.2%	27.0%
	小6	4.9%	14.1%	30.0%	28.3%	22.4%
	中1	5.8%	16.1%	36.5%	27.9%	13.7%
	中2	10.2%	15.8%	46.3%	20.5%	7.2%
	中3	7.3%	15.7%	45.3%	20.4%	11.3%

3. 教科の理解度・関心度

(わかる・おもしろい)

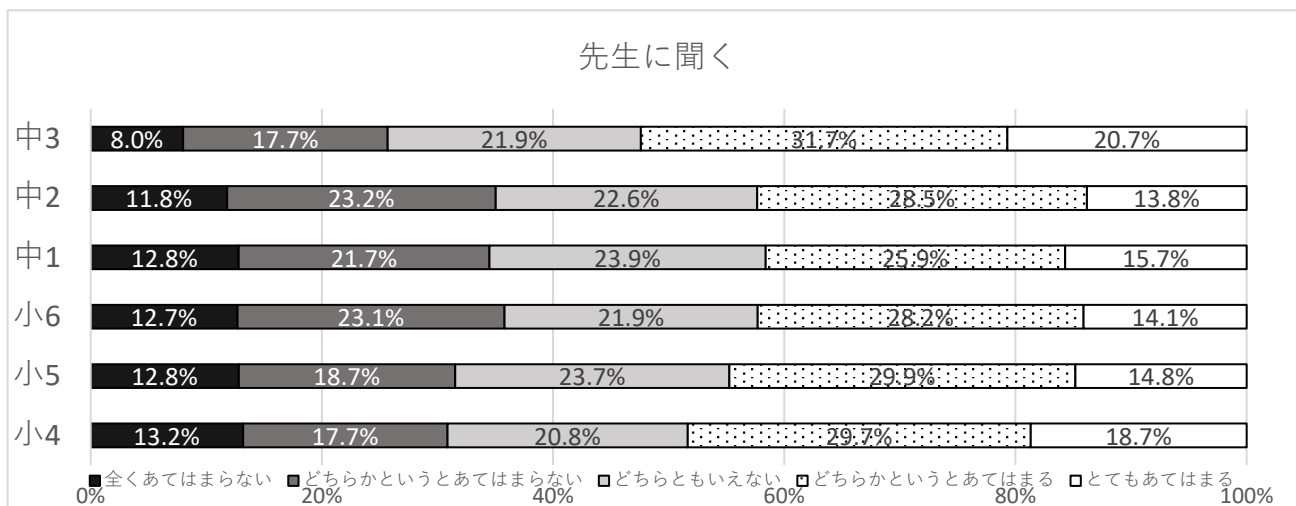
その教科がわかる・おもしろいと7～8割が回答している教科を学年別に見ると、小4では、図工、体育、音楽、総合、国語、社会、算数。小5では理科、体育、音楽、家庭科、総合、国語、社会。小6では体育、図工、家庭科、総合、理科、国語。中1では体育、理科、美術、国語、家庭科。中2、中3では、体育のみでした。つまり、学年があがるにつれて、理解度・関心度が高い科目が減少することがわかります。

教科別に見ていくと、5割以上がわかる・おもしろいと回答しているのは、国語、社会、算数数学、図工美術、家庭科、体育です。3割以下だったのは、中2の道徳でした。

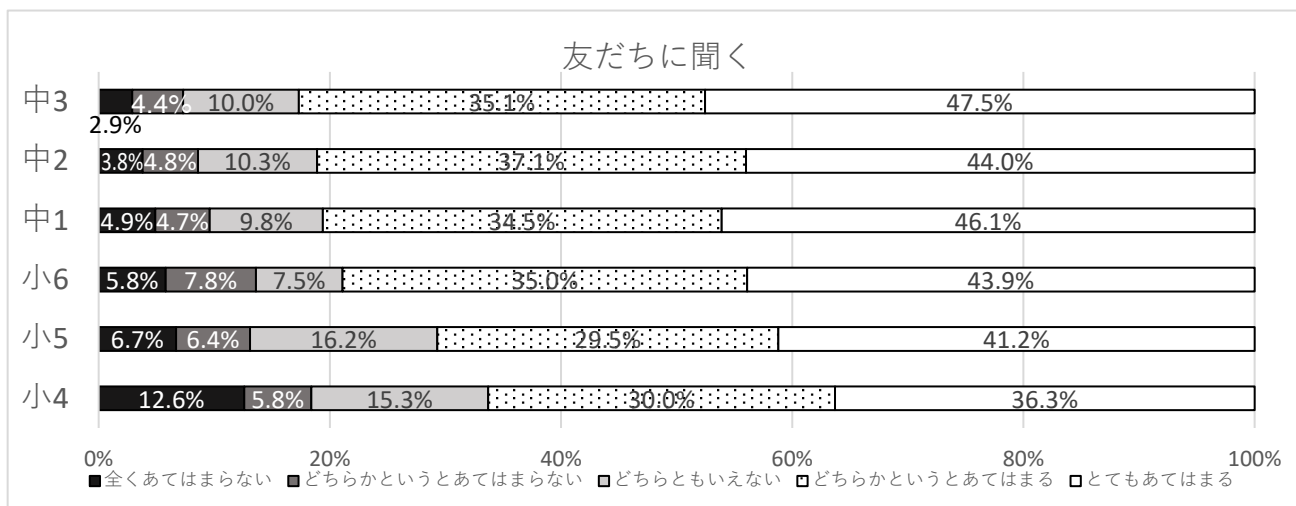
理解度・関心度が低い回答は、中3の数学、理科、英語、中2の音楽、道徳で2割ありました。

教科の理解度・関心度		全くあては	どちらかと	どちらとも	どちらかと	とてもあては
国語	小4	3.1%	5.0%	17.8%	36.6%	37.5%
	小5	3.3%	6.4%	16.7%	39.8%	33.7%
	小6	1.0%	7.5%	18.7%	39.3%	33.5%
	中1	1.4%	5.2%	21.3%	43.9%	28.1%
	中2	2.3%	10.0%	24.7%	45.9%	17.2%
	中3	2.9%	10.8%	25.8%	40.9%	19.7%
社会	小4	1.7%	5.5%	18.4%	32.5%	41.9%
	小5	2.0%	7.0%	15.7%	33.4%	41.9%
	小6	2.4%	6.8%	17.2%	28.9%	44.7%
	中1	2.0%	10.5%	23.9%	37.2%	26.4%
	中2	4.0%	11.0%	20.2%	37.0%	27.8%
	中3	3.2%	9.1%	26.1%	36.1%	25.5%
算数・数学	小4	4.8%	6.4%	15.5%	27.9%	45.3%
	小5	4.8%	7.3%	17.6%	30.3%	40.1%
	小6	3.6%	11.2%	16.3%	31.1%	37.9%
	中1	3.0%	9.9%	23.9%	31.4%	31.7%
	中2	4.3%	11.5%	23.2%	35.1%	25.9%
	中3	5.4%	18.4%	24.8%	31.4%	20.1%
理科	小4	2.4%	3.1%	13.1%	28.4%	53.0%
	小5	3.4%	5.4%	20.0%	31.0%	40.3%
	小6	1.9%	5.8%	21.2%	33.8%	37.2%
	中1	2.5%	6.6%	20.4%	40.7%	29.9%
	中2	4.8%	12.2%	25.4%	35.9%	21.7%
	中3	4.7%	15.5%	32.0%	30.7%	17.0%
外国語・英語	小4	6.0%	9.8%	22.5%	24.2%	37.4%
	小5	3.6%	12.0%	17.4%	27.2%	39.8%
	小6	4.1%	10.0%	18.2%	29.4%	38.2%
	中1	5.2%	10.8%	18.9%	30.9%	34.2%
	中2	6.5%	13.0%	22.6%	32.8%	25.2%
	中3	8.4%	14.5%	29.6%	25.3%	22.2%
音楽	小4	2.4%	5.0%	14.0%	25.5%	53.1%
	小5	5.0%	7.2%	15.0%	23.7%	49.0%
	小6	4.6%	8.5%	20.4%	27.2%	39.3%
	中1	5.8%	10.2%	24.0%	26.6%	33.4%
	中2	9.0%	15.5%	29.2%	25.4%	20.8%
	中3	5.1%	9.6%	27.4%	26.8%	31.1%
図工・美術	小4	1.9%	3.1%	9.7%	15.2%	70.0%
	小5	1.9%	5.0%	12.0%	17.3%	63.8%
	小6	3.4%	6.1%	11.9%	25.1%	53.5%
	中1	1.9%	6.1%	15.3%	30.8%	45.9%
	中2	4.3%	9.9%	18.6%	34.7%	32.5%
	中3	2.7%	5.7%	22.7%	31.8%	37.0%
家庭科、 技術・家庭科	小4	3.2%	0.6%	29.9%	18.5%	47.1%
	小5	3.1%	4.2%	12.4%	23.0%	57.3%
	小6	3.2%	4.6%	14.6%	26.9%	50.7%
	中1	2.0%	5.4%	21.3%	31.8%	39.5%
	中2	2.9%	7.4%	22.8%	36.8%	30.2%
	中3	2.7%	5.2%	26.5%	31.9%	33.7%
体育、 保健体育	小4	4.3%	3.8%	8.4%	20.1%	63.1%
	小5	2.8%	5.9%	10.9%	17.9%	62.6%
	小6	4.1%	4.1%	12.0%	20.0%	59.8%
	中1	2.5%	4.9%	11.3%	25.9%	55.4%
	中2	4.0%	6.3%	18.5%	29.2%	42.0%
	中3	3.2%	4.6%	14.2%	30.1%	47.9%
総合学習	小4	1.2%	1.7%	17.8%	21.2%	58.1%
	小5	1.7%	4.8%	14.9%	28.2%	50.4%
	小6	2.0%	4.9%	21.5%	25.4%	46.2%
	中1	2.3%	6.4%	30.5%	31.6%	29.2%
	中2	4.8%	9.0%	41.3%	28.7%	16.3%
	中3	2.7%	9.3%	37.6%	27.5%	22.9%
道徳	小4	6.0%	8.9%	23.9%	28.2%	33.0%
	小5	4.5%	11.7%	23.2%	34.1%	26.5%
	小6	4.9%	13.1%	27.7%	27.9%	26.5%
	中1	5.4%	14.5%	35.8%	27.4%	17.0%
	中2	10.4%	15.8%	44.6%	19.6%	9.5%
	中3	6.4%	13.1%	44.8%	22.6%	13.1%

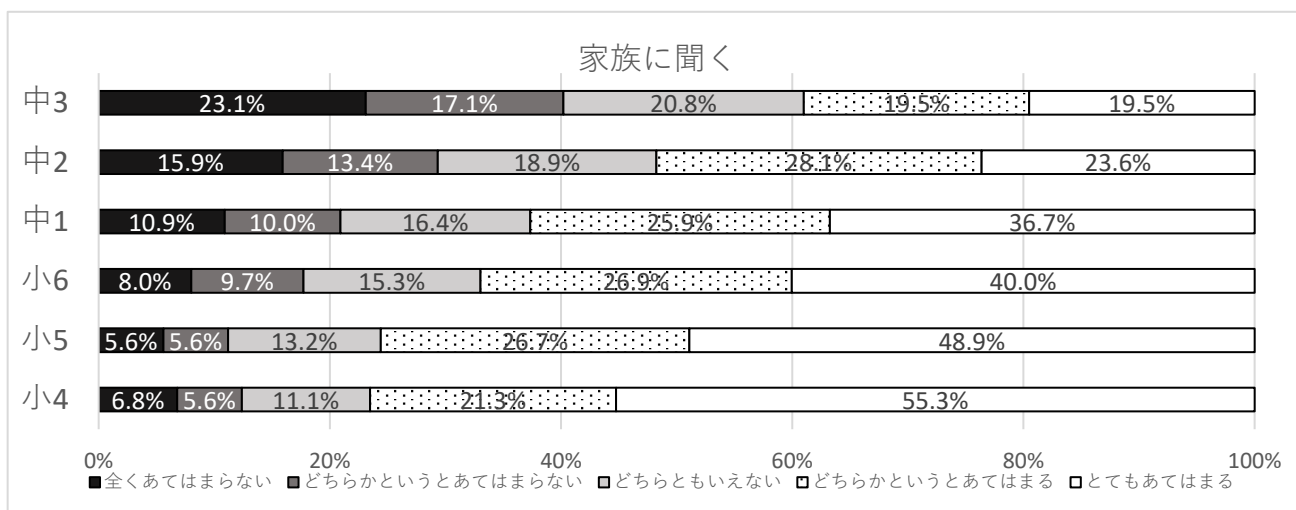
4, 授業でわからないことがあったときの対応



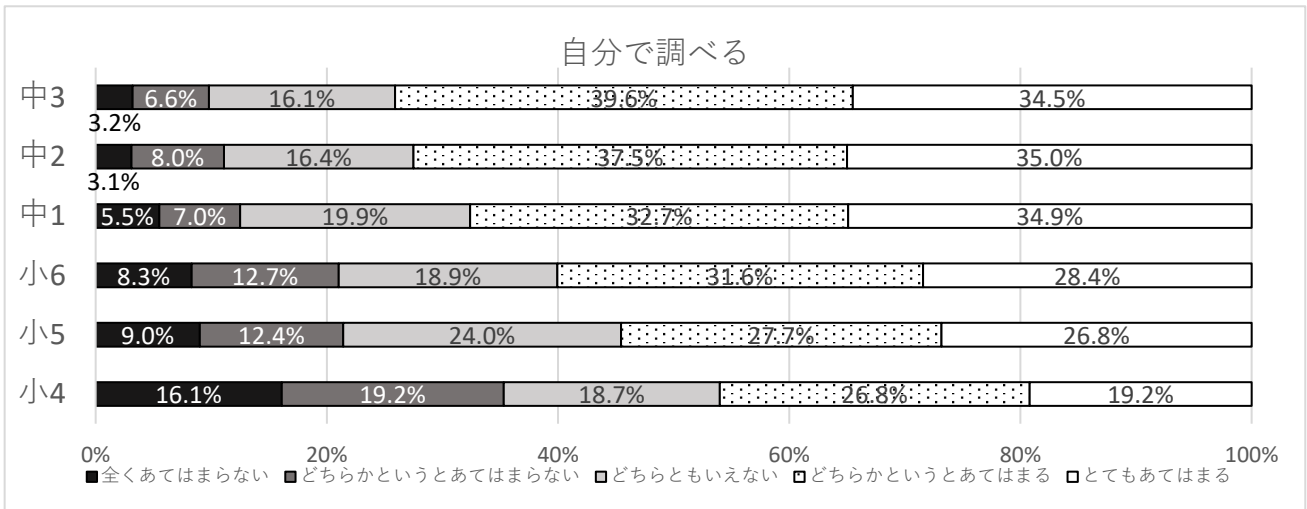
授業でわからないことがあったときに、先生に聞く者は、学年が上がるにつれて少なくなりますが、中3で再び増加し、5割以上が聞くと回答をしています。



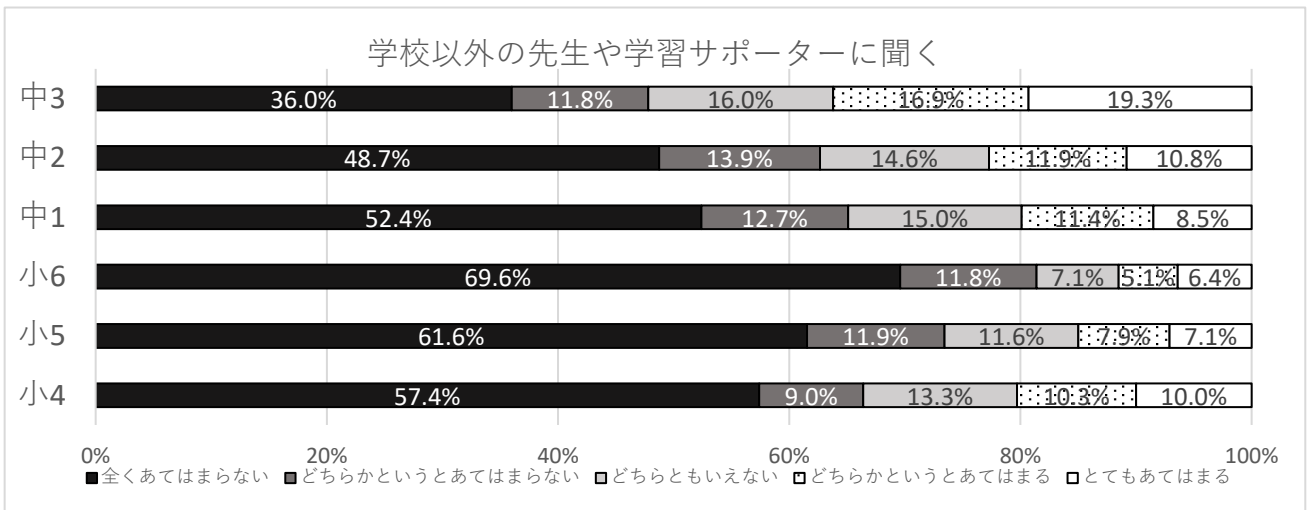
友だちに聞く者は、学年が上がるにつれて増加する傾向がみられます。中学生は8割以上が友だちに聞くと回答しています。



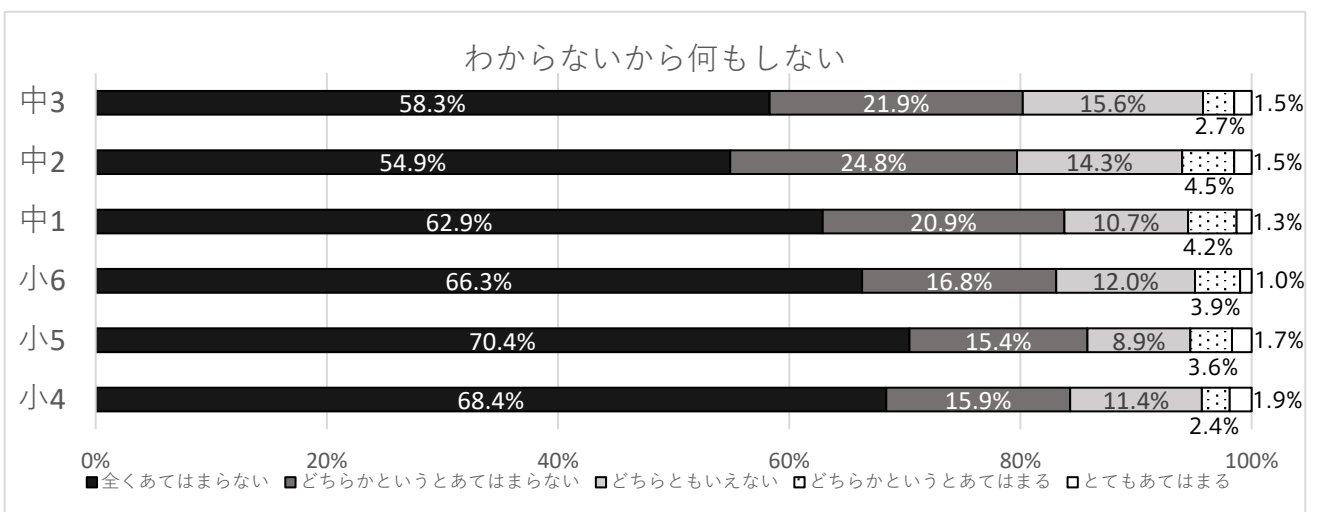
家族に聞くという回答は、学年を追うごとに減少しています。



自分で調べるについては、学年を追うごとに増加しています。

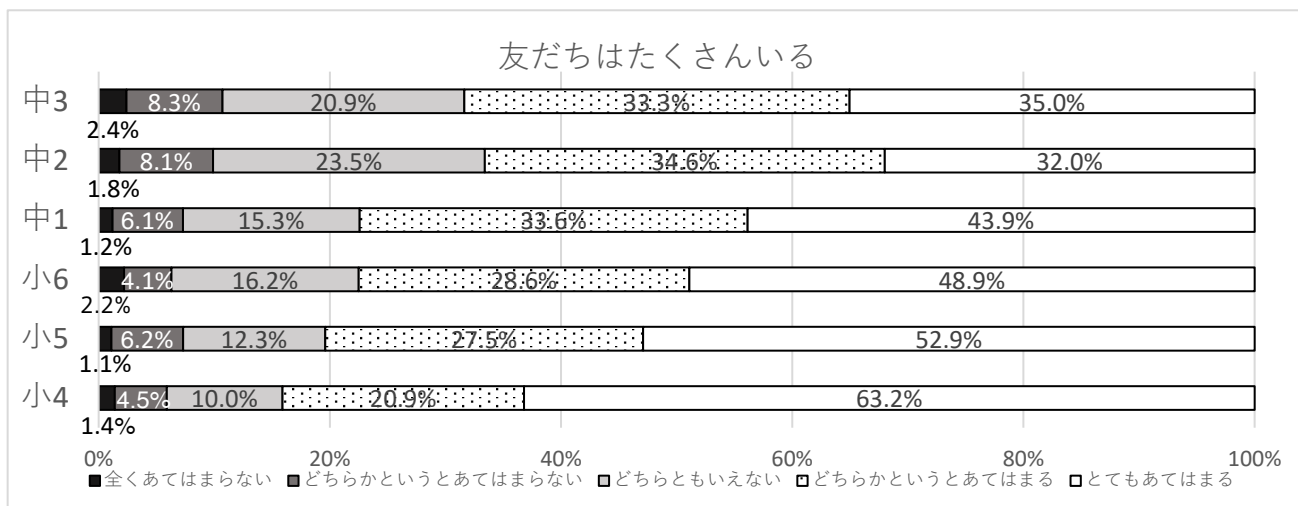


「学校以外の先生やサポーターに聞く」については、小6、中3以外の学年で昨年よりも聞くという回答が多くなっています。

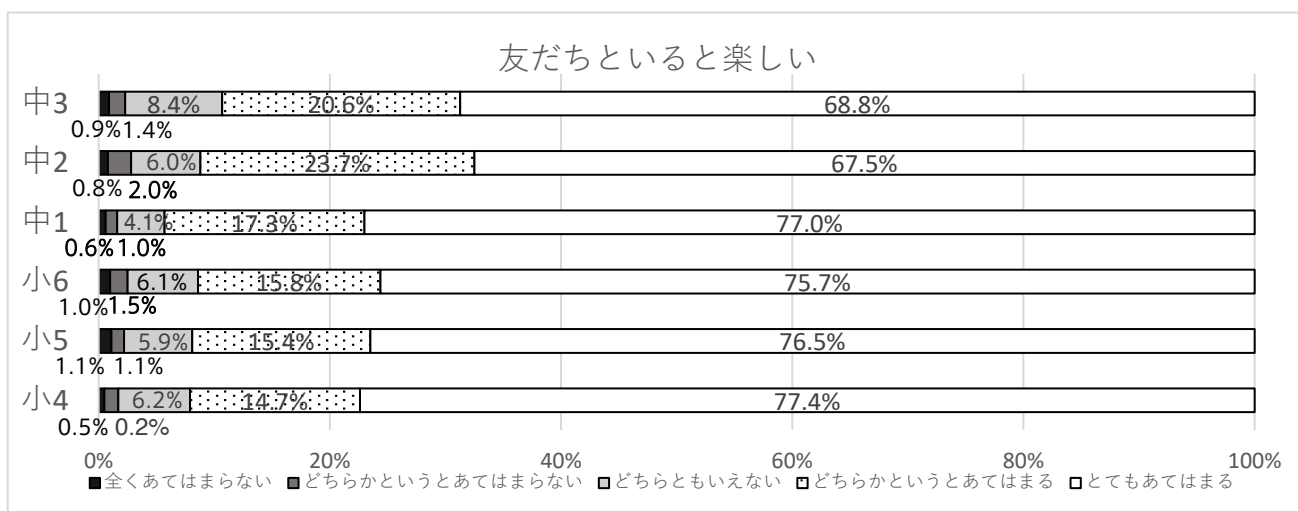


「わからないからなにもしない」という回答はいずれの学年も5%未満でした。

5. 友だちとの関係

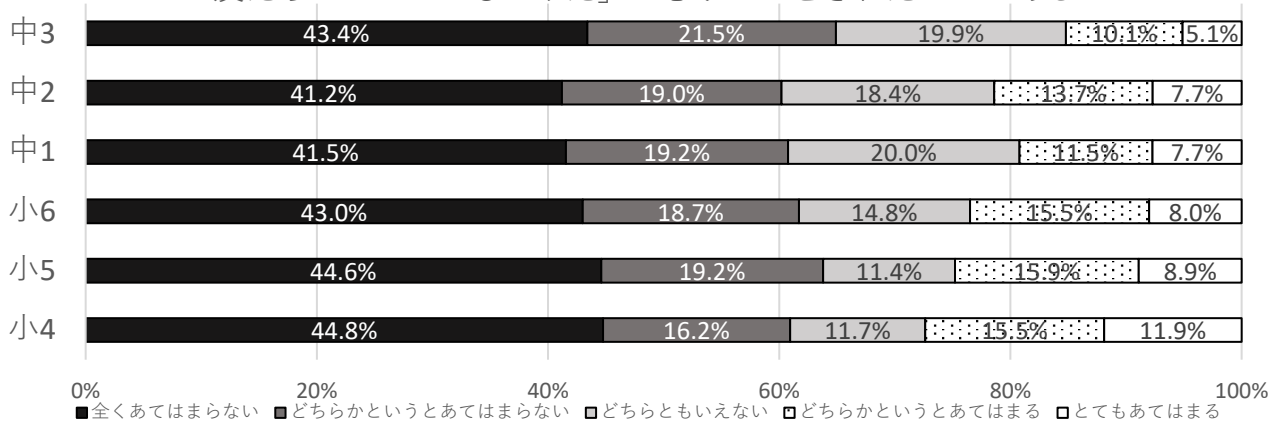


友達はたくさんいるほうだと回答した者は、学年が上がるにつれて減少する傾向がみられます。

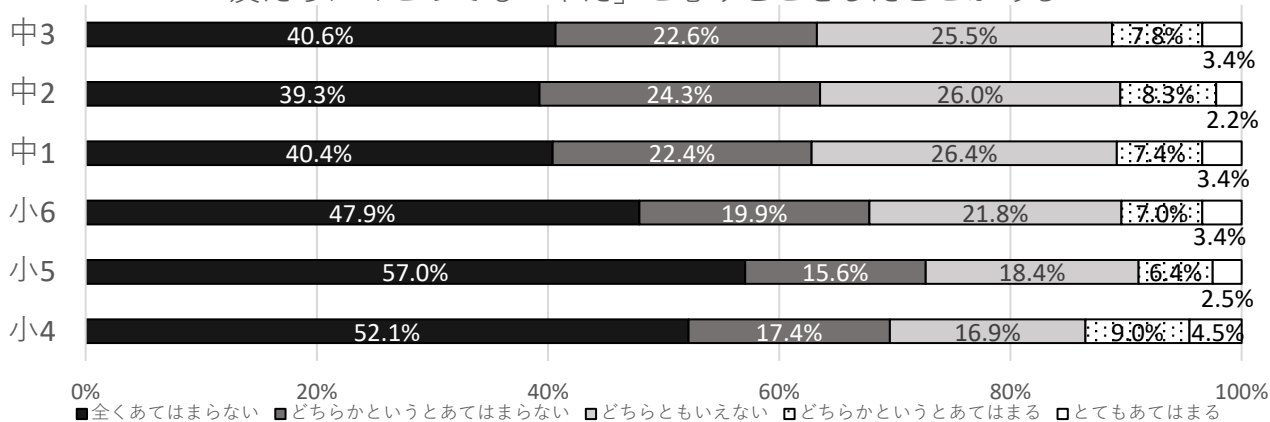


全学年で9割前後が友だちといると楽しいと回答しています。

友だちに「とってもいやだ」と思うことをされたことがある



友だちに「とってもいやだ」と思うことをしたことがある

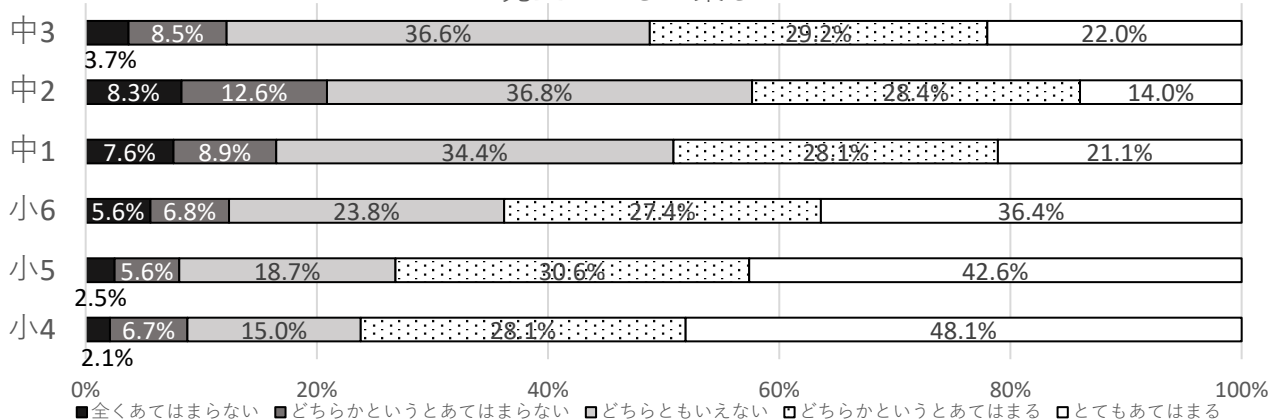


上の二つはいじめを想定した質問ですが、被害(いやなことをされたことがある)については小4の27%が最高で、中3の15%が最低でした。

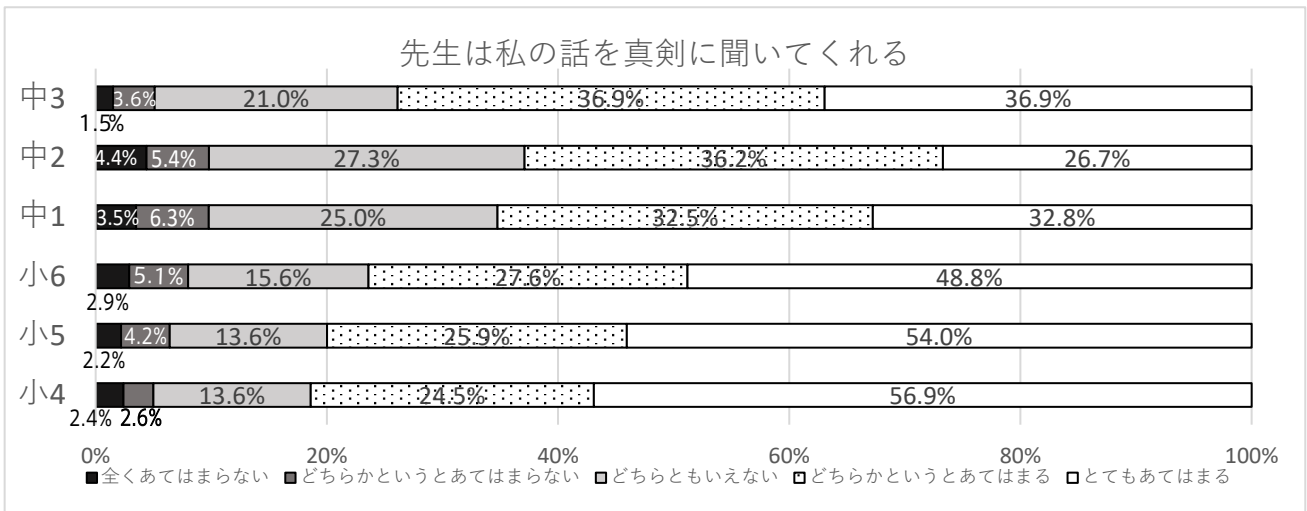
一方、加害経験については、どの学年も1割前後が肯定的な回答をしています。

6、教師との関係

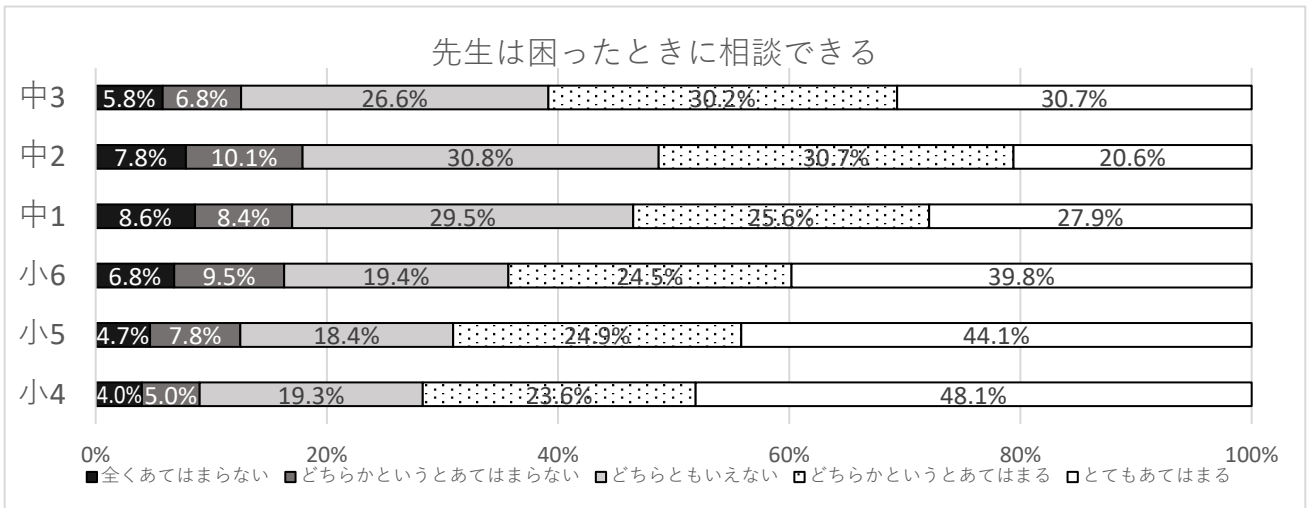
先生といると楽しい



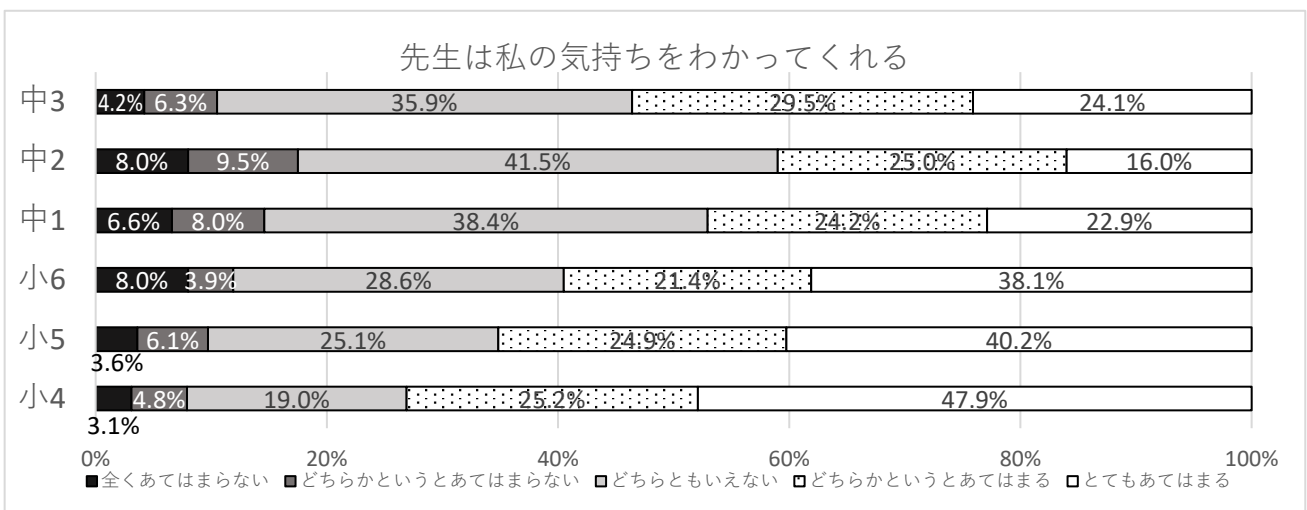
小4から中2まで、学年が上がるごとに先生といると楽しいという回答が減少する傾向がみられ、中2では5割以下になっていますが、中3では回復し、5割を超えています。



先生は私の話を真剣に聞いてくれると回答した者は中1、中2で減少しますが、それ以外の学年では7割以上が肯定的な回答をしています。

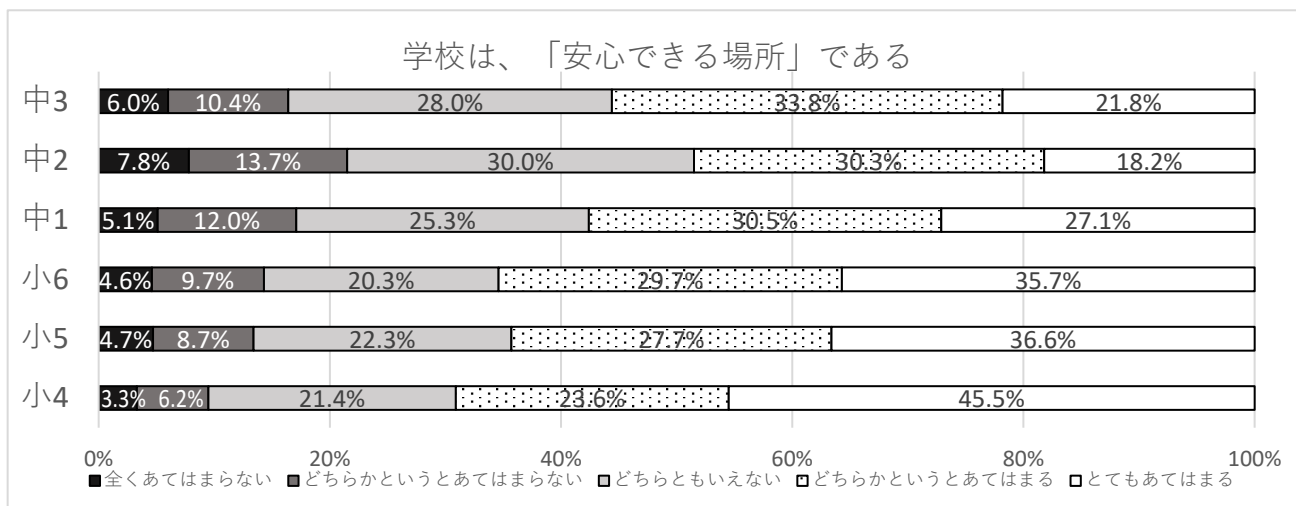


先生は困ったときに相談できると回答した者は、小4から中2まで学年が上がるにつれて減少しますが中3で回復します。小6、中1、中2では相談できないと回答した者が15%以上います。

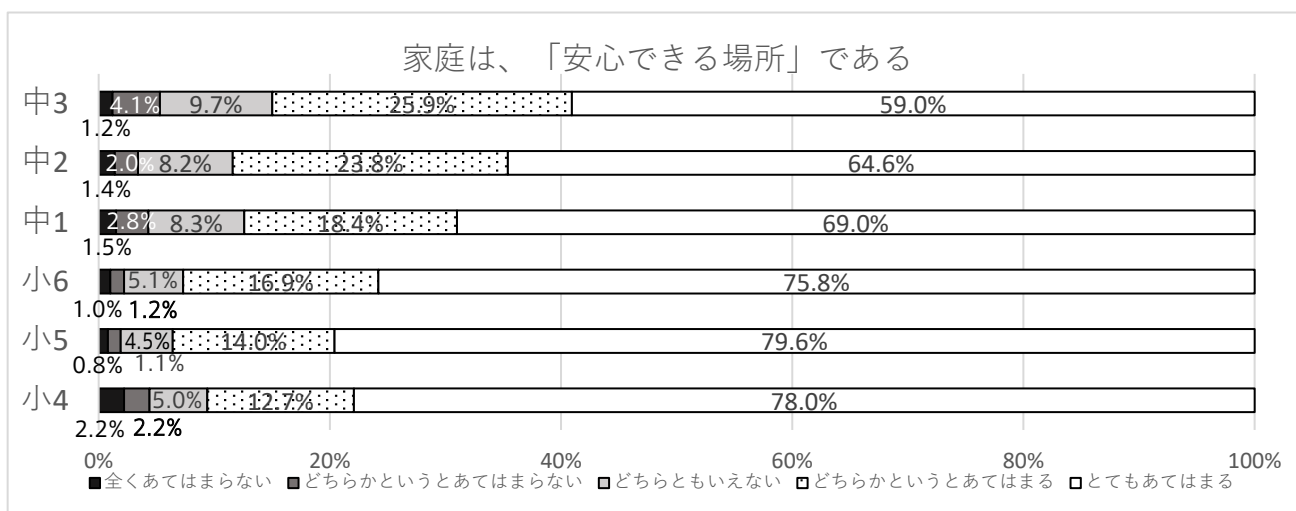


先生は私の気持ちをわかってくれるについては、前問の「先生は困ったときに相談できる」と同じような回答の傾向がみられました。

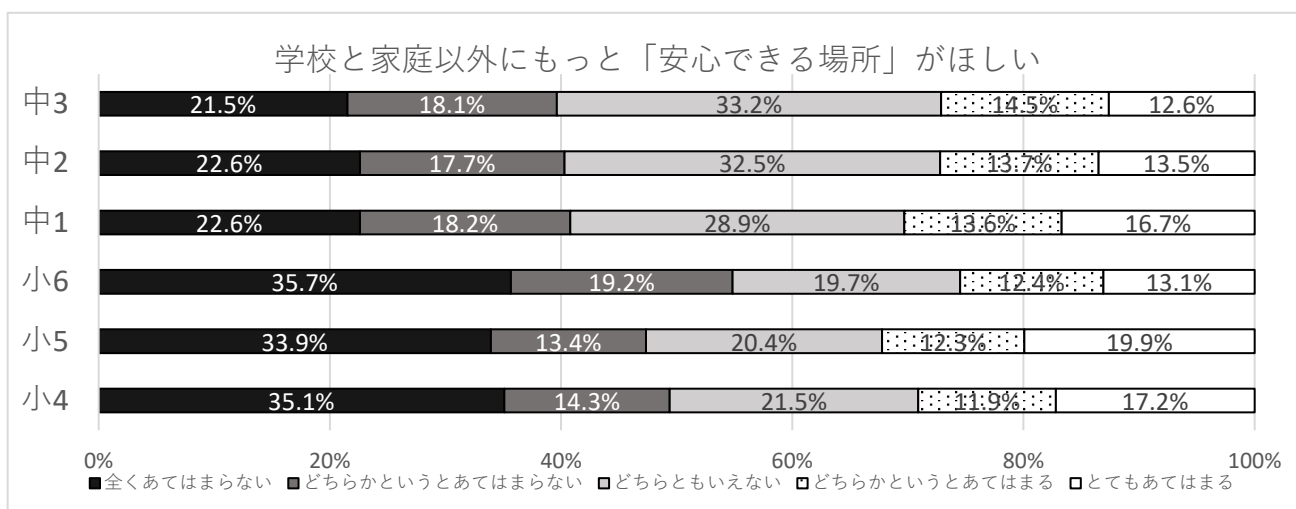
7. 居場所と多忙感



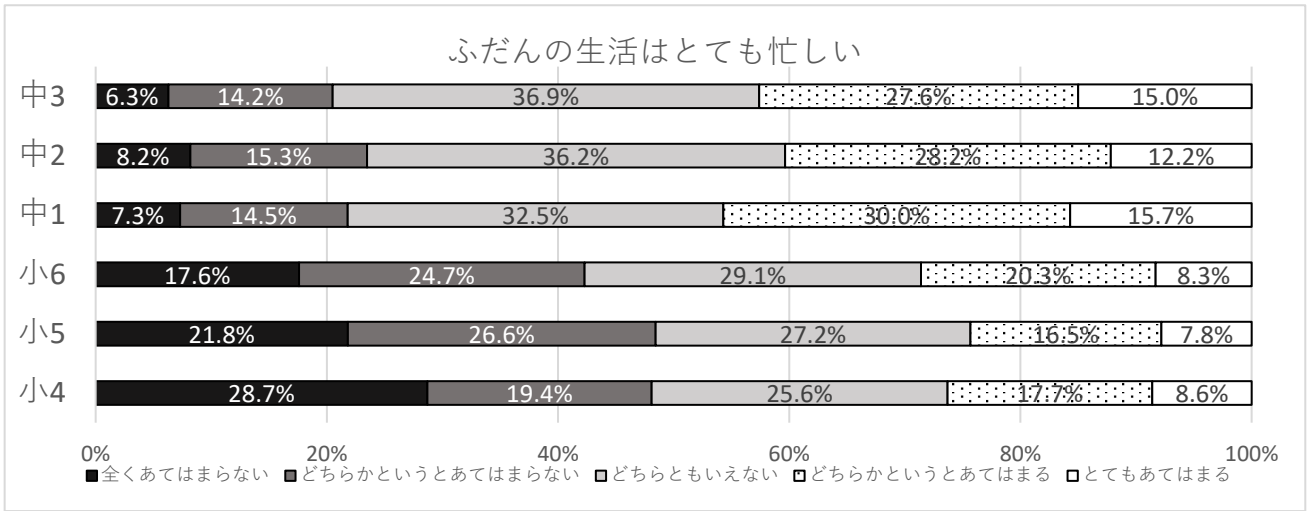
学校は安心できる場所であるについては、小4から中2まで、学年が上がるにつれて肯定的な回答が減少しますが、中2で特に少ないです。



家庭は安心できる場所であると回答した者はすべての学年で8割以上を占めています。

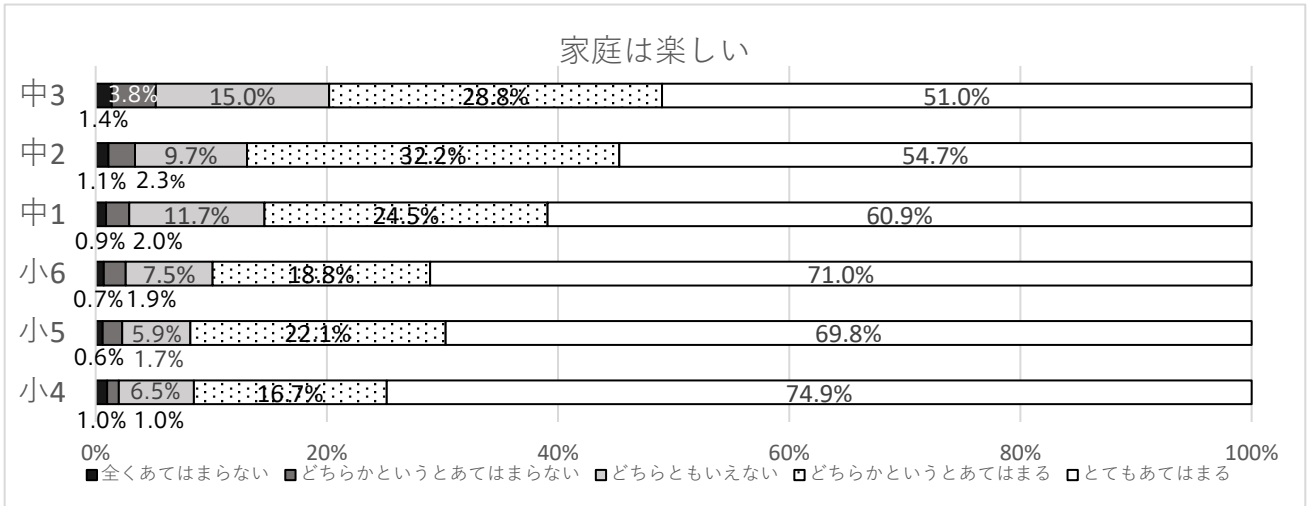


どの学年でも3割前後の者が、学校と家庭以外にもっと安心できる居場所がほしいと回答をしています。

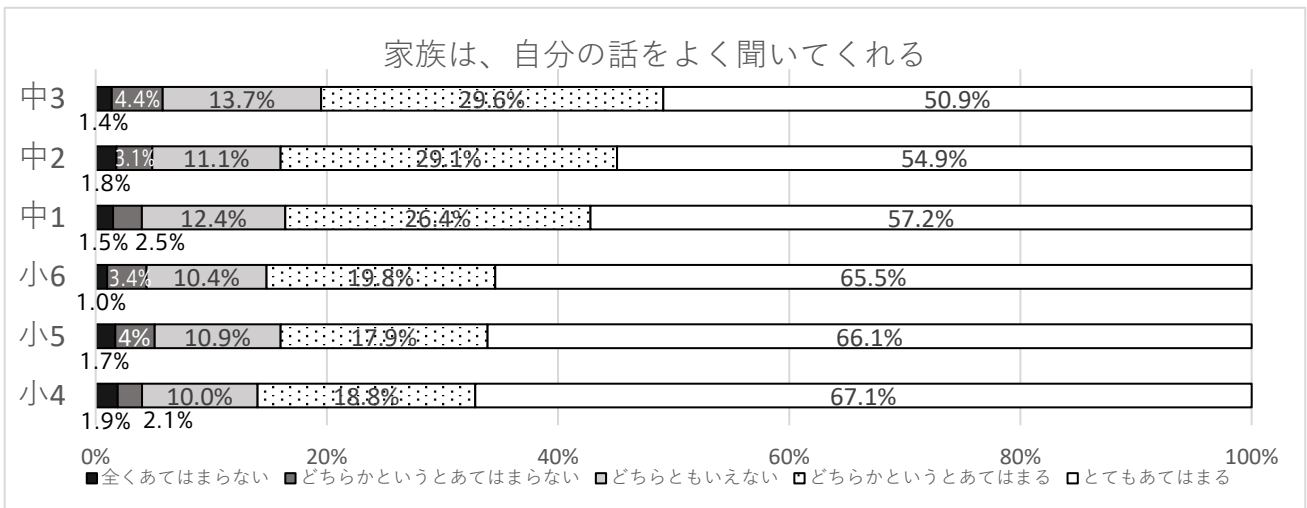


「ふだんの生活はとても忙しい」については、小学校と中学校で差があり、中学生のほうが忙しいと答えている者が多いです。

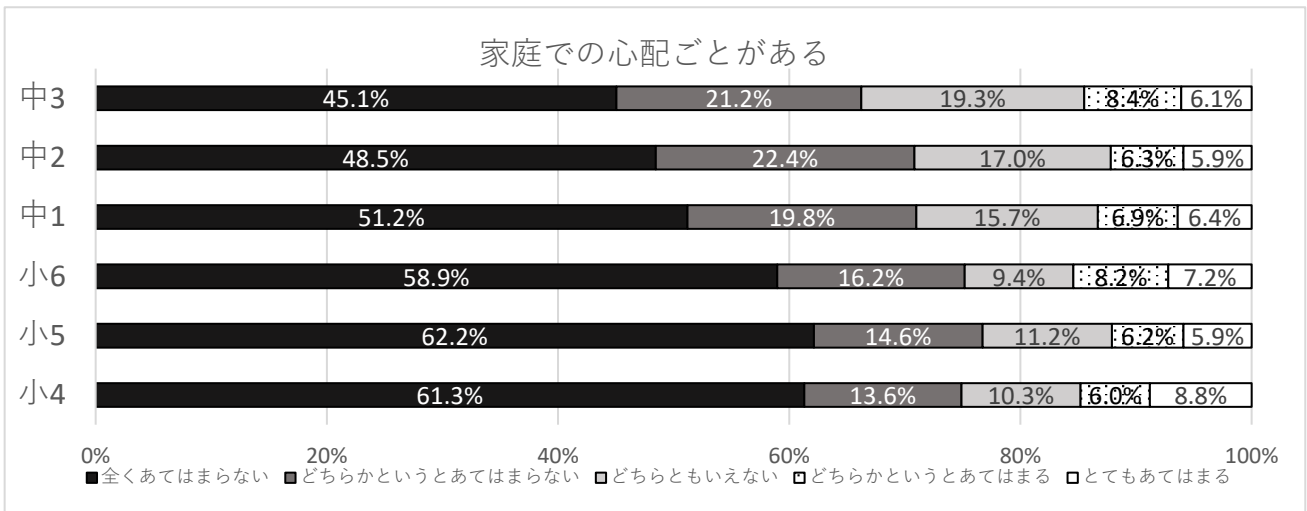
8、家庭について



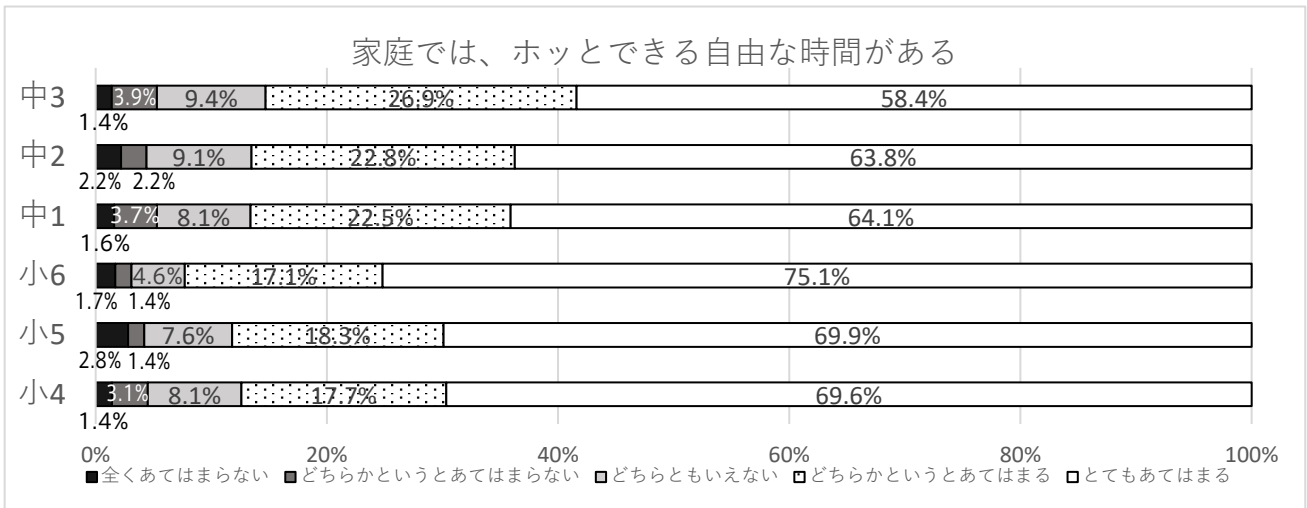
すべての学年で8割以上の者が家庭は楽しいと回答しましたが、中3では、否定的な回答が5%ありました。



家族は自分の話をよく聞いてくれるについては、すべての学年で8~9割の者が肯定的な回答をしていました。

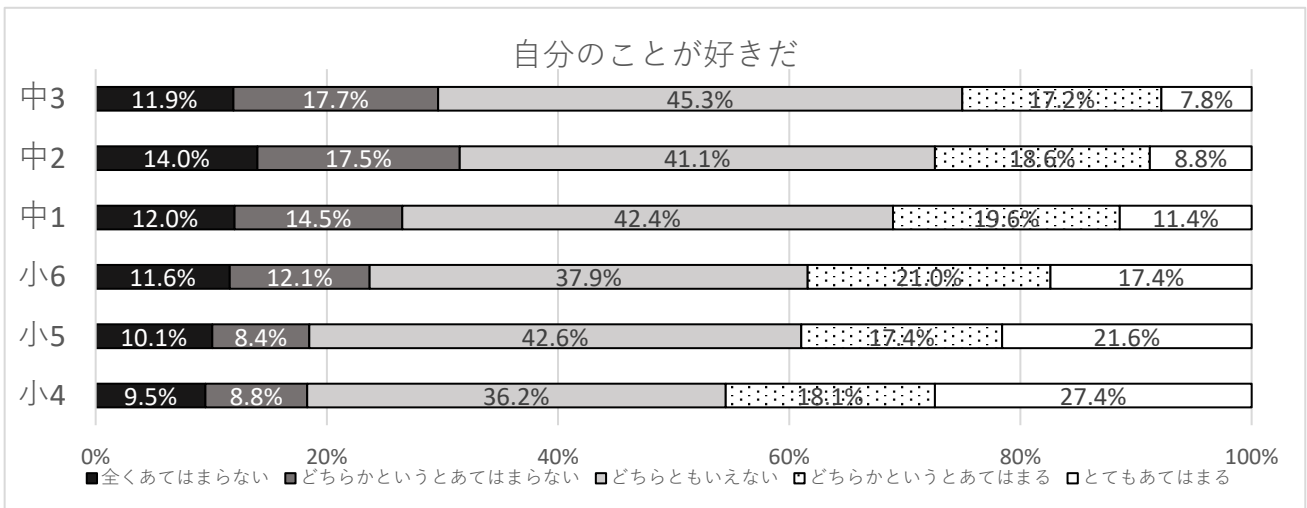


どの学年でも1割程度の者が家庭での心配ごとがあると回答しています。

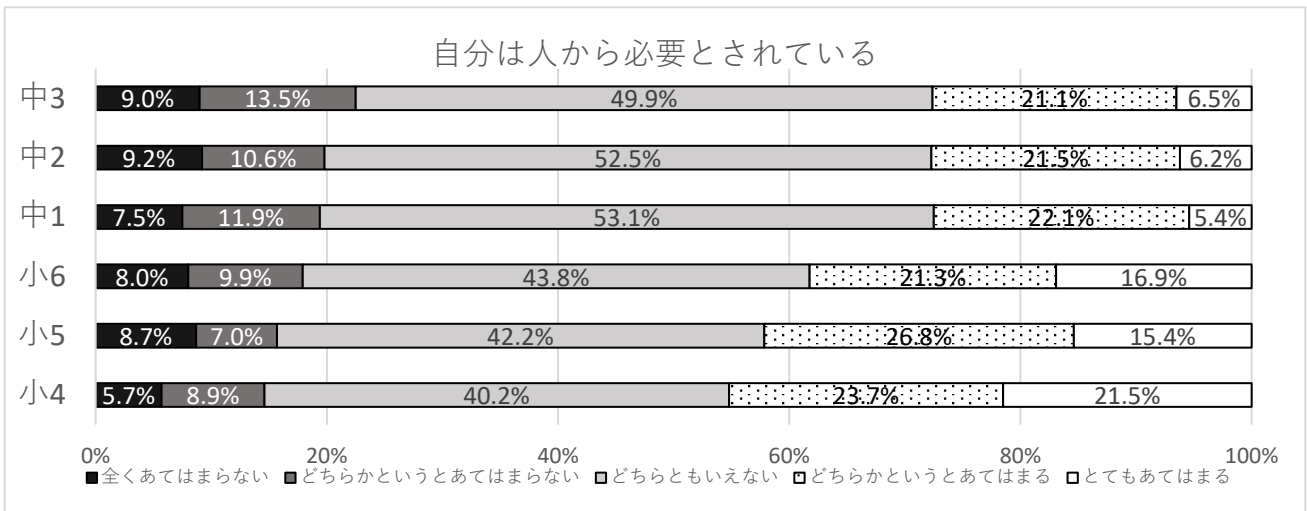


家庭ではホッとできる自由な時間があるとこたえている者は、すべての学年で9割前後ありました。一方でほっとできないと回答している者も一定数みられました。

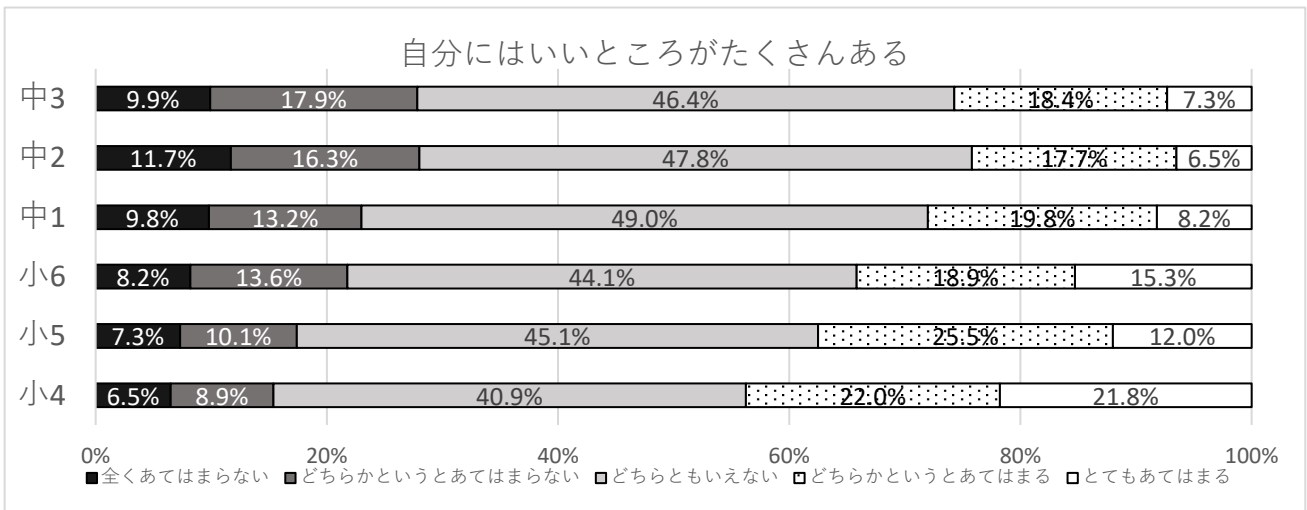
9、自分について



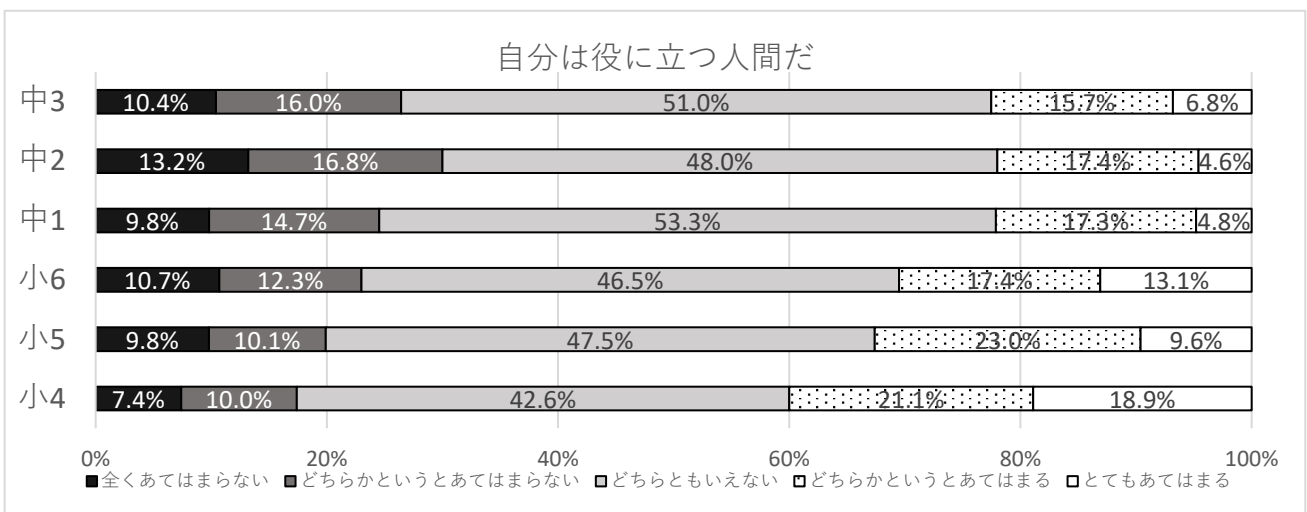
学年が上がるにつれ自分のことが好きだと回答する者が減少する傾向がみられます。



自分は人から必要とされていると回答する者は、小4から中1にかけて減少し、中学生においてはほとんど変化していませんでした。

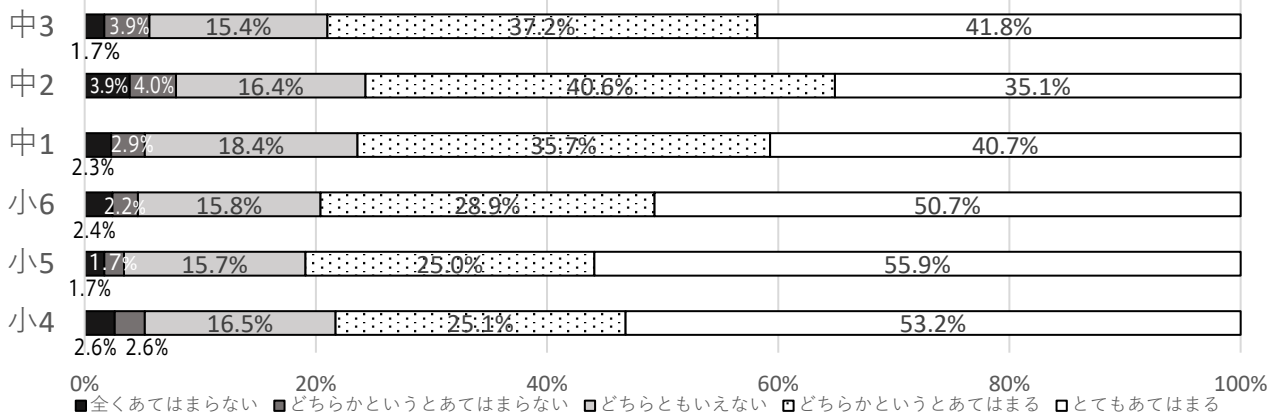


自分にはいいところがたくさんあると回答する者は、学年が上がるにつれて減少する傾向がみられます。



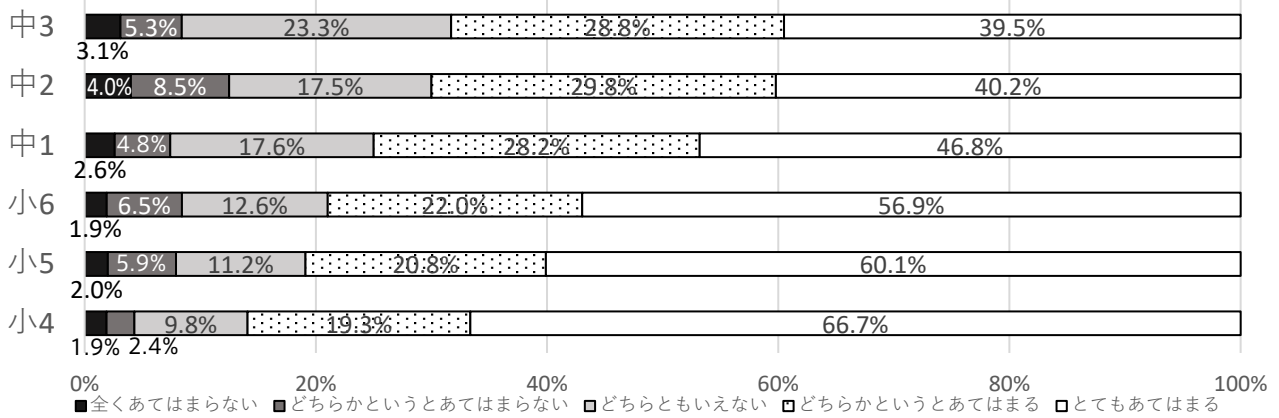
自分は役に立つ人間だと回答する者も、自分は人から必要とされていると同じような傾向がみられます。

社会に役立つことをしたい



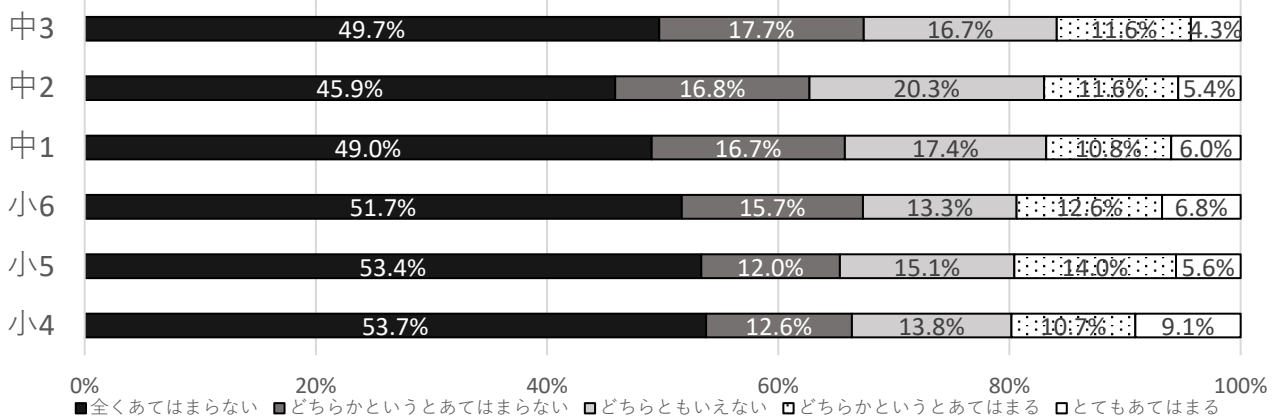
社会に役立つことをしたいについては、すべての学年で8割近くの者が肯定的な回答をしており昨年よりも増えています。

今、自分は元気だ (心・体)



今、自分は元気だという回答は、6～7割以上ありますが、学年が上がるにつれ、減少する傾向があります。

生きているのがつらいと思うことがある



「生きているのがつらいと思うことがある」と回答する者は、いずれの学年においても15～19%ほどいます。

Ⅲ. 分析篇

「学校の楽しさ」と「自尊感情」に関連する要因

ここでは学校の楽しさと自尊感情(自己肯定感)にどのような要因が関係しているのかをみていきます。その関係を分析するために、「相関分析」という手法を用います。以下にその見方について簡単に解説しますので、参考にしてください。

1. 相関分析では相関係数 r という数値を算出します。
2. 数値の見方には二つポイントがあります。

① 正負(±)の記号

記号がプラスの場合、一方が高くなると他方も高くなる、あるいは一方が低くなると、他方も低くなる関係です。たとえば、親の年収と学力の関係などです。

一方、記号がマイナスの場合、一方が高くなると、他方が低くなる、あるいは一方が低くなると、他方が高くなる関係です。たとえば規範意識と問題行動の関係などです(規範意識が低いと問題行動の頻度が高くなる)。

② 数値の大きさ

相関係数 r の数値は $-1.00\sim 1.00$ までの値をとります。その値が大きければ大きいほど、関連性が強い=高いということになります。心理学では一般的に以下のようにその関連性の強さを評価することが多いです。

弱い相関	$\pm 0.20 \leq r < \pm 0.30$
相関あり	$\pm 0.30 \leq r < \pm 0.40$
比較的強い相関	$\pm 0.40 \leq r < \pm 0.50$
強い相関	$\pm 0.50 \leq r < \pm 0.60$
かなり強い相関	$\pm 0.60 < r$

1-1. 学校の楽しさに関連する要因

相関：学校の楽しさ	
学校の授業(勉強)は楽しい	.600**
学校の行事は楽しい	.596**
学校は「安心できる場所」である	.596**
友だちといると楽しい	.451**
先生といると楽しい	.405**
友だちはたくさんいる	.402**
先生は私の気持ちをわかってくれる	.345**
先生は話を聞いてくれる	.326**
先生は困ったときに相談できる	.319**
学校生活はとても忙しい	-.096**

「学校は楽しい」と関連する要因を学校の要因、友だち関係、教師との関係という観点から検討したところ、「学校の授業(勉強)は楽しい」「学校の行事は楽しい」「学校は安心できる場所である」が強い正の相関があります。つまり、授業や行事が楽しい、あるいは学校は安心できる場所であると思っている人ほど、学校を楽しみと思う傾向が強いことがわかります。

次いで「友だちといると楽しい」「友だちはたくさんいる」「先生といると楽しい」に比較的強い正の相関が、「先生は話を聞いてくれる」「先生は困ったときに相談できる」「先生は私の気持ちをわか

てくれる」に正の相関関係があります。したがって、友だちとの関係や教師との関係の良さが、学校の楽しさと関連していることがわかります。

また「学校生活はとても忙しい」については極めて弱い相関しかみられませんでした。これは、学校の楽しさと忙しさの間には関連がみられないことを意味します。

以上のことをまとめると、授業・行事・安心感が「学校の楽しさ」に強く影響していることがわかります。この結果は昨年の調査でも確認されており、日常活動の充実と安心感の保障が重要であることがわかります。

さらに対人関係に関する項目では、友だち・教師との関係も「学校の楽しさ」に影響していることがわかります。一緒にいて楽しいと思える友人が多くいることや、自分のことを理解している・理解しようとしてくれる教師の存在がより学校生活を充実させるために重要であることがわかります。

1-2. 授業の楽しさと各教科の好み、理解度、関心度に関係

(1) 好み…図

相関：好み	
算数・数学が好き	.432**
社会科が好き	.427**
外国語・英語が好き	.407**
総合学習が好き	.402**
国語が好き	.398**
理科が好き	.374**
音楽が好き	.349**
道徳が好き	.337**
技術・家庭が好き	.301**
図工・美術が好き	.296**
保健体育が好き	.248**

(2) 理解度…図

相関：理解度・関心度	
道徳はおもしろい	.428**
総合学習はおもしろい	.418**
国語はよくわかる	.415**
社会科はよくわかる	.413**
外国語・英語はよくわかる	.408**
算数・数学はよくわかる	.398**
理科はよくわかる	.375**
音楽はおもしろい	.357**
技術・家庭はおもしろい	.336**
図工・美術はおもしろい	.319**
保健体育はおもしろい	.164**

「学校の授業（勉強）は楽しい」と各教科がどのように関係しているのかを検討するために、各教科の好み（好き）と理解・関心度（わかる・おもしろい）の関係を分析しました。

好みでは、「算数・数学」「社会」「外国語・英語」「総合」「国語」「理科」に比較的強い正の相関がありました。理解度では、「道徳」「総合」「社会」「外国語・英語」「国語」「算数・数学」「理科」に比較的強い正の相関がありました。

また科目別の違いに注目すると、「技術・家庭」、「図工・美術」「保健体育」と比較して、他の教科の方が高い相関が見られました。特に「国語」「算数・数学」「理科」「社会」「外国語・英語」のように、日々の授業の中で時間を費やすことが多い教科で、全体的な授業の楽しさと比較的強い相関があることがわかります。加えて、総合学習や道徳といった、比較的各教員や学校の特色が現れやすい科目も比較的強い相関が見られました。したがって、学校で受ける授業の時間が長いこの 5 科目と、教員の持ち味が出やすい総合学習、道徳の好みと理解・関心度を上げていくことが、授業そして学校生活の充実に結びついていくと考えられます。

2 自尊感情に関連する要因

相関：自尊感情	
自分にはいいところがたくさんある	.668**
自分は役に立つ人間だ	.630**
自分は人から必要とされている	.618**
今、自分は元気だ(心・体)	.396**
学校は、「安心できる場所」である	.359**
学校は楽しい	.316**
学校の授業(勉強)は楽しい	.315**
家庭は楽しい	.312**
友だちはたくさんいる	.310**
先生は私の気持ちをわかってくれる	.292**
家族は、自分の話をよく聞いてくれる	.287**
先生といると楽しい	.286**
家庭は、「安心できる場所」である	.285**
社会に役立つことをしたい	.267**
先生は困ったときに相談できる	.250**
先生は話を聞いてくれる	.238**
友だちといると楽しい	.227**
家庭では、ホッとできる自由な時間がある	.205**
ふだんの生活はとても忙しい	-.079**
学校生活はとても忙しい	-.084**
家庭での心配ごとがある	-.122**
学校と家庭以外にもっと「安心できる場所」がほしい	-.129**
生きているのがつらいと思うことがある	-.295**

「自分のことが好きだ」という自尊感情と関連する要因を学校、教師、友人、家庭、自分に対する要因等の観点から分析を行ないました。

「自分にはいいところがある」という長所や「自分は人から必要とされている」「自分は役に立つ人間だ」という自己有用感の項目において、特に強い正の相関があることがわかります。自尊感情を高めていくためには、個人の長所に目を向け、それに気づかせるアプローチ、そして長所を生かせる場所の提供、結果へのフィードバックが大切だと思います。

また「今自分は元気だ」「学校は安心できる場所である」「学校は楽しい」「家庭は安心できる場所である」に相関がみられます。昨年と比較して特徴的なのは、「家庭は楽しい」が、今年は相関があり、家庭を楽しんでいる者ほど、自分のこ

とを好きだと思っているという傾向が見られました。

2020 小中学生アンケート調査の総括と感想

長野の子ども白書小中学生アンケートチーム

2020年度はコロナ禍でのアンケート調査となり、まずは例年通りに各学校でアンケート調査に協力が得られるだろうかという心配と、例年とは異なる状況なので、特別の質問項目を設けるべきか、という迷いもありましたが、このような時だからこそ同じ質問項目で実施しようと、大規模校を中心に協力依頼を行いました。休校による授業進度の遅れや行事の変更でたいへん多忙な2学期に、12校の校長先生から「協力する」という回答をいただきました。ご協力、本当にありがとうございました。

「さっぽろ子ども・若者白書」

実はこの「学校・家庭と自分に関する」小中学生アンケート調査は、「さっぽろ子ども・若者白書」をつくる会と北海道大学大学院・発達心理学研究室が共同で、2015年から2019年まで5年間、実施してきたものと同様調査内容です。3月26日に刊行された、2020 さっぽろ子ども・若者白書に「小中学生アンケートから見る札幌の子ども：5年間の調査結果から」（北海道大学大学院教育学研究院 加藤 弘通准教授）が掲載されています。継続した5年間の変化や共通した傾向性から深く分析したこの報告は、このアンケート調査の「子どもたちの声を聴く」という意義について、改めて教えてくれます。こちらもぜひお読みください。

学校現場で活かせる報告を

長野の子ども白書編集委員会は、この北海道大学大学院・発達心理学研究室の協力を得て、長野県下でこのアンケート調査を開始して4回目となりました。現在まだ質量ともに不十分な調査結果ではありますが、「継続する」ことの意味を大事にして取り組みたいと思います。

また、全体の結果から「声を聴く」ことはなかなか難しいのだとも感じています。それは、各学校ごとの結果に大きな違いが表れる調査でもあるからです。それらはまた比較するべきものでも無いので、各学校ごとに「報告書」をお届けし、各学校で、日々対面している子どもたちの姿を思い浮かべながら、「読み取って」（聴きとって）いただきたいと考えています。ご協力いただいた学校には、学校単位の「結果報告書」をお届けしています。毎年続けることで、子どもたちの声をより正確に聴くことができ、授業や行事など学校運営の評価や、特別な配慮が必要な子どもの存在に気づくためにも役立ち、同時にさらに生かすべき子どもたちの活動や、有効な取り組みにも目を向けることができると思われます。

コロナ禍での調査結果

さて、コロナ禍での調査であったため、子どもたちはどのように感じているのだろうか・・・という関心がありました。結論から言うならば、昨年との比較では大きな差異はありませんでした。しかし、よく見ると、「おや」と思う違いはありました。気付いたことを何点か、以下に記しておきます。

- ・「学校の授業は楽しい」という回答が昨年よりもわずかですが増え、「学校に行きたくないと思うことが良くある」という回答は減って「そう思わない」が多くなりました。
- ・「授業や宿題でわからないことがあったときの対応」で、「先生に聞く」は昨年に比べ中1以外の学年で多くなっていました。「友達に聞く」は小6・中1・中2で昨年より多くなりました。「自分で調べる」は、小5より上の学年で多くなっています。
- ・友だちとの関係では、「いやなことをしたことがある」「されたことがある」のいずれも、「まったく当てはまらない」という回答が昨年より多くありました。
- ・「学校は安心できる場所である」という回答については、中3が昨年より多くありました。
- ・「家庭での心配事がある」という回答は、中学生が昨年よりも少なくなっています。
- ・「自分にはいいところがたくさんある」「自分は人から必要とされている」「今自分は元気だ」という回答は、昨年よりも多くなっています。

コロナ禍との関連は定かではありませんが、以上のことが昨年と違った点です。さらに調査を続け、経年比較をすることで、何らかの関連が見えてくるかもしれません。引き続きの調査分析に活かしていきたいです。

また、今回の結果について「中2」だけが他の学年と異なる点がいくつかありました。この点についても、過去の結果と照らし合わせてみたいですね。